

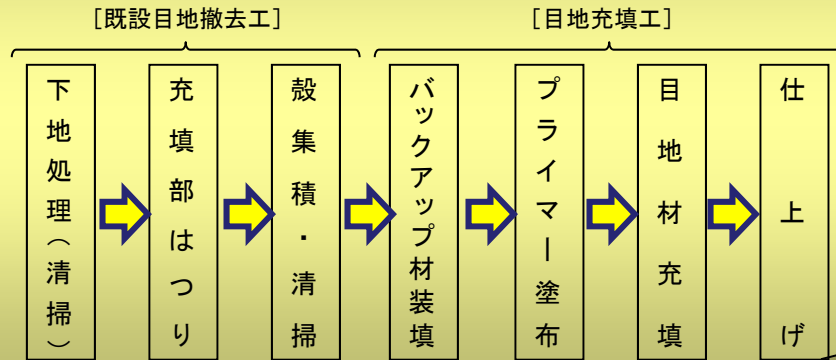
主要工種の改定概要

番号	工種名	主な改正点
1	開水路目地補修工(充填工)	◆開水路目地の充填による補修歩掛を制定 ・弾性シーリング材による目地充填工に適用
2	コンクリートブロック積等裏込工	◆諸雑費率の見直し ・積ブロック： 7% → 12% ・張ブロック： 8% → 16%
3	水路用鉄筋コンクリートL形ブロック機械据付	◆使用機械、規格の見直し ・トラッククレーン → バックホウ(クレーン機能付) ・ラフテレーンクレーン 20 t 吊 → 25 t 吊 ◆諸雑費率の見直し ・敷きモルタル材料費率 1%程度増
4	管水路基礎	◆使用機械、規格の見直し ・基礎材投入機械 バックホウ山積み 0.28, 0.45, 0.8m ³ 第1次基準値 → 第2次基準値 ◆諸雑費率の見直し 7% → 12%
5	強化プラスチック複合管機械布設	◆使用機械、規格の見直し ・トラッククレーン → バックホウ(クレーン機能付) ・ラフテレーンクレーン 25 t 吊 第1次基準値 → 第2次基準値
6	ダクタイル鋳鉄管機械布設	◆使用機械、規格の見直し ・トラッククレーン → バックホウ(クレーン機能付) ・ラフテレーンクレーン 25, 50 t 吊 第1次基準値 → 第2次基準値 ◆適用範囲の見直し ・K形管にDC、DD種を追加 ◆施工歩掛の見直し ・機械運転時間の見直し ◆諸雑費率の設定
7	制水弁据付工	◆使用機械、規格の見直し ・バックホウ(クレーン機能付) 第1次基準値 → 第2次基準値 ・ラフテレーンクレーン 25t 吊 第1次基準値 → 第2次基準値
8	敷鉄板設置撤去	◆使用機械、規格の見直し ・トラッククレーン → バックホウ(クレーン機能付き) ◆歩掛の見直し ・使用機械の見直しに伴う労務数、作業能力の見直し ◆材料名称の変更 ・敷鋼板→敷鉄板
9	土工用マット敷設	◆歩掛の見直し ・撤去歩掛の見直し 0.36人/100m ² → 0.32人/100m ²

1. 開水路目地補修工(充填工)

施工概要

既設水路の目地を撤去後、目地材(弾性シーリング材)を充填する。



※本歩掛で対応しているのは実線部分である。

制定概要

◆開水路目地補修工(充填工)歩掛の新規制定

開水路(現場打、二次製品)の目地補修工のうち、弾性シーリング材による目地の充填工に適用する。
(適用範囲:目地幅10mm以上40mm以下、目地深さ5mm以上30mm以下)

◆歩掛内容

- ・既設目地を撤去する歩掛を設定
- ・バックアップ材の装填やプライマーの塗布を行い、目地材を充填する歩掛を設定

既設目地撤去状況



目地材充填状況



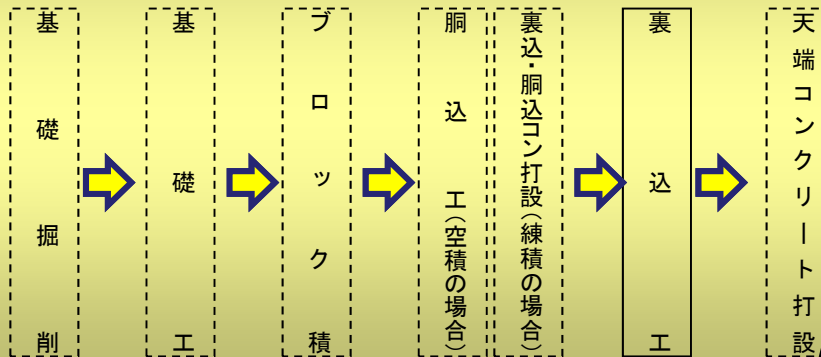
完成



2. コンクリートブロック積等裏込工

施工概要

コンクリートブロック積(張)の裏込工を行う。



※本歩掛で対応しているのは実線部分である。

改正概要

◆諸雑费率の見直し

- ・積ブロック 7% → 12%
- ・張ブロック 8% → 16%

バックホウによる投入状況



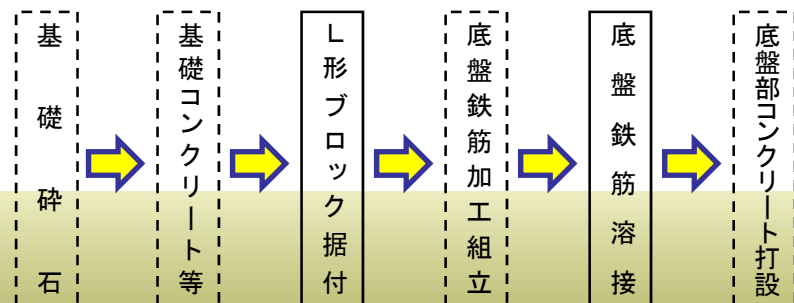
振動コンパクタによる締固状況



3. 水路用鉄筋コンクリートL形ブロック機械据付

施工概要

水路用鉄筋コンクリートL形ブロックを機械により据付を行う。



※本歩掛で対応しているのは実線部分である。

改正概要

◆据付け機種の見直し

- ・トラッククレーン油圧伸縮ジブ型4.9 t 吊



バックホウ(クレーン機能付)排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)2.9 t 吊

- ・ラフテレーンクレーン排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型20 t 吊



ラフテレーンクレーン排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊

◆敷モルタル材料費率

1%程度増

バックホウ(クレーン機能付)による施工状況



ラフテレーンクレーン25t吊による施工状況



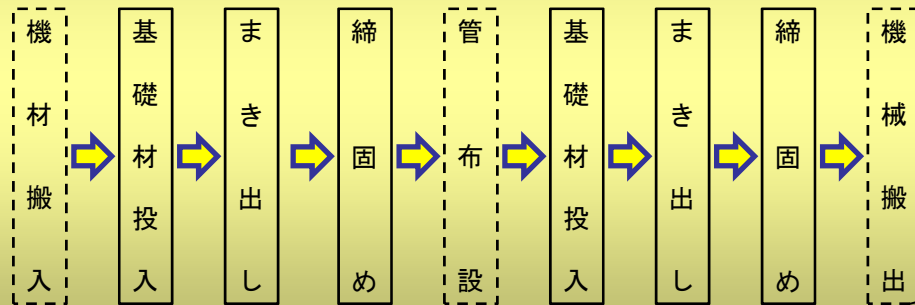
敷モルタルの施工状況



4. 管水路基礎

施工概要

管水路の基礎（管頂まで）を砂・砕石又は良質な土砂を用いて施工する。



※本歩掛で対応しているのは実線部分である。

改正概要

◆基礎材投入機械の見直し

- ・排出ガス対策基準値の引き上げ
バックホウ 山積(0.28、0.45、0.8m³)
第1次基準値 → 第2次基準値

◆まき出し及び締め歩掛の見直し

- ・諸雑費率の改正
7% → 12%

基礎材投入状況



基礎材のまき出し状況



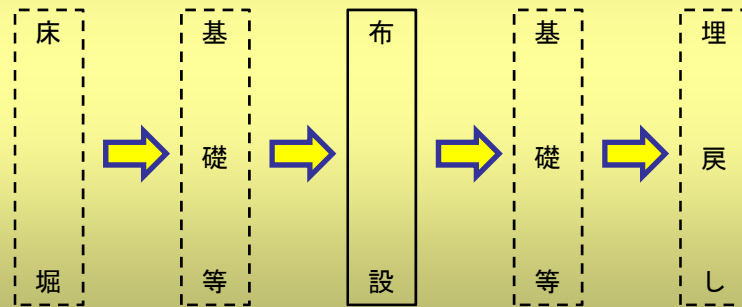
締め状況



5. 強化プラスチック複合管機械布設

施工概要

素堀・土留(たて込み簡易土留以外)施工において、強化プラスチック複合管の機械布設を行う。



※本歩掛で対応しているのは実線部分である。

改正概要

◆使用機械の見直し

- ・トラッククレーン4.9t吊からバックホウ(クレーン機能付) 排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.8m³ 2.9t吊に改正
- ・ラフテレーンクレーン25t吊は排出ガス対策型第1次基準値から第2次基準値に改正

バックホウ(クレーン機能付)による施工状況



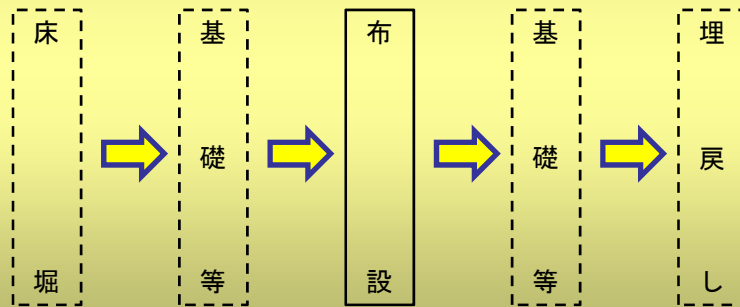
ラフテレーンクレーンによる施工状況



6. ダクティル鑄鉄管機械布設

施工概要

素堀・土留(たて込み簡易土留以外)施工において、ダクティル鑄鉄管の機械布設を行う。



※本歩掛で対応しているのは実線部分である。

改正概要

◆使用機械の見直し

- ・トラッククレーン4.9t吊からバックホウ排出ガス対策型(第2次基準値)山積0.8m³ 2.9t吊に改正
- ・ラフテレーンクレーン25、50t吊は排出ガス対策型第1次基準値から第2次基準値に改正

◆適用範囲の見直し

- ・K形管にDC、DD種を追加

◆施工歩掛の見直し

- ・機械運転時間の改正

◆諸雑費率の設定

- ・接合用滑材費用、レバーブロック損料の諸雑費化

バックホウ(クレーン機能付)による施工状況



ラフテレーンクレーンによる施工状況



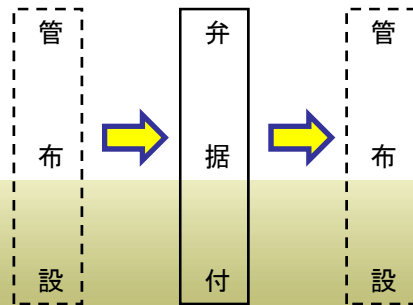
管接合状況



7. 制水弁据付工

施工概要

制水弁（仕切弁及びバタフライ弁）の据付を行う。



※本歩掛で対応しているのは実線部分である。

改正概要

◆使用機械

- ・バックホウ排出ガス対策基準値の引き上げ
第1次基準値 → 第2次基準値
- ・ラフテレーンクレーン排出ガス対策基準値の引き上げ
第1次基準値 → 第2次基準値

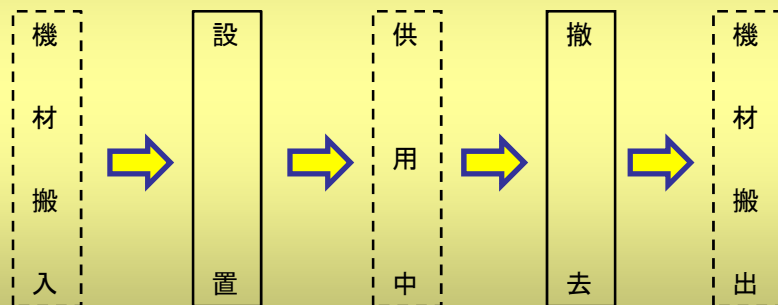
制水弁据付 施工状況



8. 敷鉄板設置撤去

施工概要

敷鉄板の設置、又は撤去を行う。



※本歩掛で対応しているのは実線部分である。

改正概要

◆使用機械の見直し

・トラッククレーン 油圧伸縮ジブ形 4.9 t 吊



・バックホウ(クレーン機能付き) クローラ型
山積0.8m³(平積0.6m³) 2.9 t 吊

◆歩掛の見直し

使用機械の見直しに伴う労務数、作業能力の改正

◆材料名称の見直し

敷鋼板→敷鉄板

トラッククレーン
油圧伸縮ジブ型 4.9t吊



経年変化

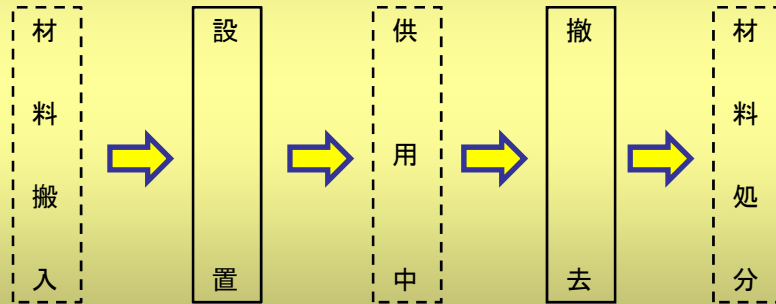
バックホウ(クレーン機能付き) クローラ型
山積0.8m³(平積0.6m³) 2.9t吊



9. 土工用マット敷設置

施工概要

土工安定用材（マット、シート類）の敷設、又は撤去を行う。



※本歩掛で対応しているのは実線部分である。

改正概要

◆歩掛の見直し
撤去歩掛の改正

土工安定用材敷設、撤去状況

